

富山県感染症発生動向速報

(2025年第41週分・10月6日～10月12日)

■今週の主な動向

○新型コロナウイルス感染症の報告数が多い状況が続いています。

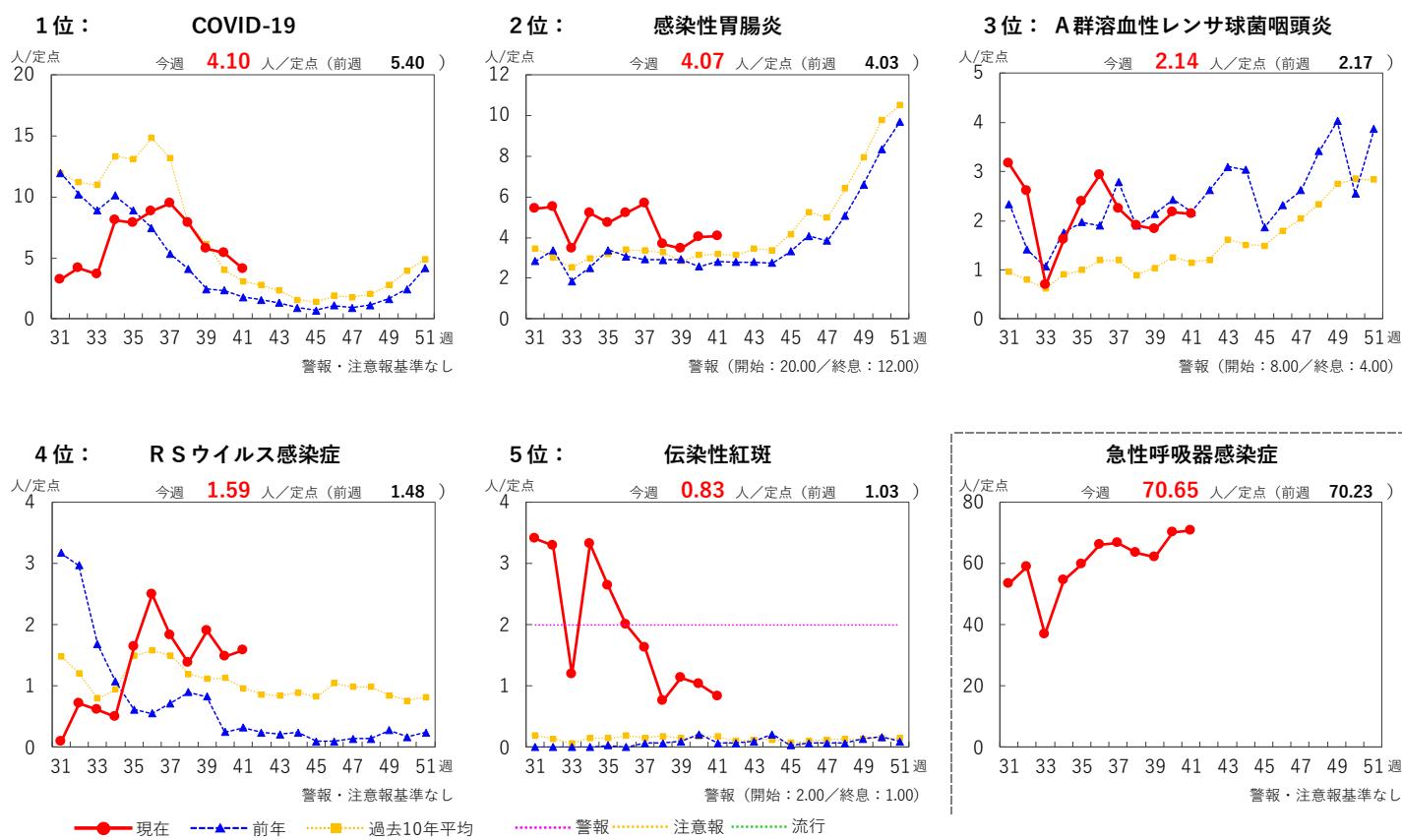
県内の患者報告数は、今週4.10人/定点となり4週連続で減少しましたが、依然多い状況です。手指衛生や咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう。また、定期予防接種の対象の方は、冬季の流行前の接種をご検討ください（[先週のインフォメーション参照](#)）。

○感染性胃腸炎に注意しましょう。

小児科定点での報告数は、例年に比べやや多い状況が続いています。感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、細菌やウイルスなどの病原体が主に食品や手指を介して口から入ることによって感染します。感染予防のために、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症（第41週・10/6～10/12）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件（20歳代、男性、O157、VT2）

五類感染症 急性脳炎 1件（第40週診断分：10歳未満、女性）

百日咳 3件（①第40週診断分：10歳未満、女性）

②10歳未満、男性 ③10歳未満、女性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通） HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>





野外で活動する際は ダニにご用心！

《インフォメーション》

●ダニが媒介する感染症

野外に生息するダニ（ツツガムシやマダニ）は春から秋にかけて活動が活発になります。人が農作業やレジャー等の野外活動でダニの生息場所に立ち入ると、病原体を保有しているダニに刺され、感染症を発病することがあります。

国内で発生する可能性があるダニが媒介する感染症には、ツツガムシ病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ライム病などがあります。発病初期は風邪様症状を示しますが、重症化すると死に至ることもあります（表参照）。これまで、日本紅斑熱、SFTSの患者は西日本を中心に報告されていましたが、今年は東日本でも相次いでSFTS症例が報告されています。今後、ますます全国に拡大する可能性があります。

疾患名	病原体	潜伏期間	症状及び所見	治療法	県内（全国）の患者報告数			
					2022年	2023年	2024年 ^{*3}	2025年 ^{*4}
ツツガムシ病	ツツガムシ病リケッチャ <i>Orientia tsutsugamushi</i>	5～14日	発熱・発疹・ダニの刺し口	抗菌薬投与 ^{*1}	3 (493)	2 (445)	1 (353)	0 (107)
日本紅斑熱	日本紅斑熱リケッチャ <i>Rickettsia japonica</i>	2～8日	発熱・発疹・ダニの刺し口	抗菌薬投与 ^{*1}	0 (457)	1 (500)	0 (523)	0 (506)
SFTS	SFTSウイルス	6～14日	発熱・消化器症状 血小板減少・白血球減少	対症療法 抗ウイルス薬投与 ^{*2}	1 (118)	0 (134)	0 (122)	1 (169)
ライム病	ライム病ポレリア <i>Borrelia bavariensis</i> など	3～32日	遊走性紅斑・発熱 神経症状・関節炎	抗菌薬投与 ^{*1}	0 (14)	0 (28)	0 (25)	0 (16)

*1 テトラサイクリン系等 *2 ファビピラビル(アビガン®) *3 2025/3/8時点での暫定値 *4 富山県第41週時点、全国第40週時点

県内の感染事例については、ツツガムシ病は毎年1～3例、日本紅斑熱は2023年に初めて1例確認されています。SFTSは2022年5月にイヌ2頭で、11月にヒトで初めて確認され、今年6月にはヒトの2例目（[6月27日報道発表](#)）、8月にはネコ1頭で確認されました（[8月27日報道発表](#)）。また、県内で捕獲された野生イノシシのSFTSウイルスの抗体陽性率は増加傾向であり、2024年には県西部6.2%、県東部1.4%であったことが確認されました（[9月16日報道発表](#)）。このことは、県西部の野山ではSFTSウイルスを保有するマダニに刺されるリスクが高いことを示唆しています。**野外で活動する際は、ダニに刺されないための対策が必要です。**以下のことに注意しましょう。

- ① 草むらなどに入るときには、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくしましょう。
- ② 服の上や肌の露出部分に、ダニ忌避剤（ディート、イカリジン）等を使用しましょう。
- ③ 地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。
- ④ 野外で活動した後は、すぐに入浴し、ダニに刺されていないかを確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。
- ⑤ 皮膚に吸着しているダニを無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまうがあるので、医療機関（皮膚科等）で取ってもらいましょう。
- ⑥ ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関を受診しましょう。その際、ダニに刺されたことを伝えましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第41週 2025年10月6日～2025年10月12日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核						6	2	18	13	40	79	
		(再掲)結核：無症状病原体保有者を除く						5	1	11	7	26	50	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1	1	2	1	7	3	4	17	
	四類感染症	E型肝炎								4			4	
		A型肝炎							1	1		1	3	
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)								1			1	
		デング熱								1			1	
		レジオネラ症							1	3	3	15	22	
	五類感染症	アメーバ赤痢								1		2	3	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症								4		5	9	
		急性脳炎								1	1	1	3	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1		3		8	12	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	1	
		ジアルジア症										1	1	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症						2		1	2	4	9	
		侵襲性肺炎球菌感染症						5		8	4	18	35	
		水痘（入院例）						1		1			2	
		梅毒						4	1	8	4	28	45	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	百日咳			1	1	2	29	139	147	43	272	630		
	風しん										1		1	
	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	292	297	1,098	271	1,433	3,391	7,813	7,105	26,753	6,564	33,378	81,613
			41.71	59.40	84.46	38.71	89.56	70.65						
		インフルエンザ	2	2	4	2	17	27	954	884	1,701	997	1,973	6,509
			0.29	0.40	0.31	0.29	1.06	0.56						
		COVID-19	43	16	42	54	42	197	1,559	668	1,813	1,353	1,684	7,077
	小児科定点（29定点）	R Sウイルス感染症	4	1	21	1	19	46	52	54	296	57	359	818
			1.00	0.33	2.63	0.25	1.90	1.59						
		咽頭結膜熱	1	1	8			10	74	39	301	4	104	522
			0.25	0.33	1.00			0.34						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5	27	1	27	62	150	248	1,551	199	2,148	4,296
			0.50	1.67	3.38	0.25	2.70	2.14						
		感染性胃腸炎	25	7	11	14	61	118	1,089	652	1,481	528	4,597	8,347
			6.25	2.33	1.38	3.50	6.10	4.07						
		水痘		1		1	3	5	10	84	48	25	298	465
				0.33		0.25	0.30	0.17						
眼科定点（7定点）	手足口病				1	1	1	3	4	8	60	17	67	156
				0.13	0.25	0.10	0.10							
	伝染性紅斑	1	3	4	6	10	24	131	326	759	142	1,221	2,579	
		0.25	1.00	0.50	1.50	1.00	0.83							
	突発性発しん	1	1	2	1	3	8	9	24	120	30	140	323	
		0.25	0.33	0.25	0.25	0.30	0.28							
	ヘルパンギーナ	1	2	8		13	24	29	51	286	62	212	640	
		0.25	0.67	1.00		1.30	0.83							
	流行性耳下腺炎	1				2	3	3	11	7	9	26	56	
		0.25				0.20	0.10							
基幹定点（5定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100	
	流行性角結膜炎			1	2		3	6	19	29	25	2	81	
				0.50	2.00		0.43							
	細菌性結膜炎										1	1	2	
	無菌性結膜炎										1		1	
	マイコプラズマ肺炎			2	1	1	4	27	9	36	27	10	109	
				2.00	1.00	1.00	0.80							
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）								5			5		
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）								1	1		2	
	COVID-19による入院患者			2	1		3	122	110	98	147	293	770	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（2025年9月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患 (上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数)		9月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症	1		2		10	13	3	1	16		57	77
		1.00		0.67		2.50	1.30						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	2		1	4		8	5		40	53
			1.00	0.67		0.25	0.40						
	尖圭コンジローマ				1	1	2		2	2	5	14	23
					1.00	0.25	0.20						
	淋菌感染症					2	2	1		3		11	15
						0.50	0.20						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	3	2	2	9	12	10	25	13	40	100
		1.00	1.00	3.00	2.00	2.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。